

いつもお世話になります。ロンドンオリンピックの感動を胸に「よし、自分も頑張ろう」と意気込んだのは2ヶ月程前のことなのに、早くもあの熱意が冷めかけている……。情熱をキープするのは難しいものです。自分を奮い立たせ続けるコツは、日々の生活の中で「小さな感動を積み重ねること」なのかもしれませんね。

## 365日が楽しくてたまらない!「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント：【焦って頭が真っ白になってしまったら】

最近料理を楽しむ男性が増えました。料理と仕事は通じているところがあり、「要領の良さ・悪さ」がはっきり表れます。野菜を茹でながら肉を焼いて、料理が仕上がると同時に洗い物まで終わっている要領の良い



人もいれば、一品作るだけで台所が地獄絵図のような有様になる人もいます。これを仕事に置き換えれば「なるほど」と納得するでしょう。要領が良い・悪いは性格や考え方にもよりますが、焦るあまりに緊張して要領が悪くなってしまうような場合には、誰にでもできる対処法があります。それは、「とりあえず席を立つこと」です。

人間の脳には「ワーキングメモリ」という機能があります。一時的な記憶を覚えておく場所で、いくつかの知的作業を併行して行うときに活躍します。ワーキングメモリの使い方が上手な人は一度に3つくらいの作業を併行できますが、野菜を茹でながら肉を焼ける要領の良い人でも、横で奥さんが「実はね・・・」と深刻な話を始めたらたまりません。急激なストレスは一気にワーキングメモリの容量を低下させ、物事を併行して考えるのが面倒臭くなるため作業効率が落ち、最悪のケースでは考えること自体が嫌になり頭が真っ白になってしまうことも。メモリの容量オーバーでパソコンがフリーズした状態と同じようなことが脳で起こるわけです。適度な緊張感自身が引き締まりますが、「失敗したらどうしよう」という不安や心配が大きいとワーキングメモリが上手に働かなくなり、ここぞというときに実力を発揮できません。焦って要領が悪くなったら、「ちょっと失礼します」と席を立って仕切り直し。

つまり、リセットです。フリーズしたパソコンが再起動で復活するように、席を立ってその場から離れるとワーキングメモリは一旦復活して、再び冷静になれます。大事な場面で席を立つのは勇気があることですが、思考回路がフリーズしてしまったら商談が失敗してしまうかもしれません。そうなる前に「ちょっと失礼します」で風向きを変え、自分のペースに軌道修正というのもひとつの方法です。



## トレンドを斬る!

「マーケティングを無視し、醸造職人たちの究極のこだわりで造り上げたプレミアムビール」として話題の『グランドキリン』

が好調です。キリンの商品でも最大量の麦芽を使用し、独自の製法で重厚感のある飲み応えや香味、深い余韻を実現したこのビールは、発売1ヶ月で年間販売目標の約60%を達成しました。売れる理由は、「職人のこだわりの味」なのか、それとも「マーケティングを無視したプレミアムビール」という話題なのか。グランドキリンの今後に注目です。



今を生きる  
先人の言葉

才能とは持続  
することである

日本画家である平山郁夫の言葉。始めることは誰にでもできるが、それを続けることができる者は少ない。一つのことを続けられる能力を「才能」と呼ぶのであろう。

思わずナットク! 今日から使える **ビジネス作法**

**【ビジネスを加速する小さな投資】**

メールやWeb、携帯電話を介したコミュニケーションがビジネスでも当たり前になりましたが、だからといって「紙」でのやり取りがなくなったわけではありません。役所関連の提出書類など、収入印紙を貼ったり署名・捺印してのやり取りというのは今でもありますし、この手の書類の多くが「相手からの回収」や「提出」が必要となる重要なものです。このような返してほしい書類が、なかなか先方から戻ってこないことも多いのではないのでしょうか。そこで、「書類の送り方」をひと工夫してみましよう。まずは、返送用の封筒を用意し返送先を記載します。そして、その封筒に必要な額の切手も貼っておくのです。急ぐ場合は、「速達」と赤字で記載してその分の切手も貼っておきます。また、同封する書類には、署名・捺印してほしい箇所に付箋や鉛筆で印をつけ、わかりやすくしておきます。送付書にはいつまでに返送してほしいか、署名や捺印する箇所がいくつあるかも、はっきりと箇条書きしておくといよいでしょう。このような対応は、相手がお客様である場合には行っても、自分が発注者の場合には切手や返送用封筒を省略することが多いのではないのでしょうか。しかし、「待っている時間」や「相手に催促する手間」はムダともいえます。封筒と切手という小さな投資が、仕事の効率と質を向上させてくれます。



今さら聞けない **経済用語**

**【今月の教えてキーワード：株式公開買い付け（TOB）】**

企業の経営権の取得などを目的として、新聞広告などに一定の価格で一定の期間に一定の株数を買取ることを表明し、不特定多数の株主から一挙に株式を取得する方法のこと。take-over bid（テーク・オーバー・ビッド）の略でTOBと呼ばれる。TOBには買収される側が株の買い集めに不同意にもかかわらず、一方的に株式の買い付けを宣言する「敵対的TOB」、買収される側が株式の購入に協力的な「友好的TOB」がある。

今月のオススメの

**逸品**



**キントーの『マグキャップ』**

シリコン製なのでコップにのせて軽く押しすとピタッと吸い付きます。オフィスで少し席をはずすときに使えば、ホコリが入るのを防いでくれます。また、電子レンジでも使えるのでラップ代わりにもなりますよ。

キントー マグキャップ

**元氣と氣づきを提供する**

**豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所** ♥♥♥

豊島区池袋2-60-7ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>

mail：[info@satousigeru.jp](mailto:info@satousigeru.jp)